



「重森三玲庭園再発見・再考察プロジェクト「名勝指定に向けて」

重森三玲庭園の会 × 鹿野アートフェスティバル実行委員会 × (一財) 周南観光コンベンション協会

- 教育・子育て
- 地域づくり
- 福祉・健康・医療
- 産業・観光
- その他(国際交流)
- 生涯学習・人権
- 安心安全
- 都市基盤
- 環境共生



重森三玲が創った漢陽寺庭園を名勝指定にする

漢陽寺庭園を近い将来名勝指定にするための活動として広報活動や学術的資料の整備、さらに庭園を媒体としたツアー企画を目的とし、地域の観光資源を活かして交流人口の増加と地域活性化につなげていく。

PROJECT POINT

- ① 高齢化・過疎化が進む地域の問題解決
- ② 重森三玲の創った漢陽寺庭園の活用・認知度向上

APPROACH

独自のツアー企画の策定や、認知度向上のためのPR動画の作成

“重森三玲庭園再発見・再考察プロジェクト「名勝指定に向けて」”の取り組み

鹿野地域は周南市の中でも高齢化・過疎化が進んでいることが地域づくりの問題点だった。この問題解決に取り組むためには、地域の孤立化を防ぎ・交流人口を増やし、活性化させる必要がある。そこでプロジェクトを立ち上げ、鹿野地域の「資源」でもあり「たから」でもある重森三玲の創った漢陽寺の「曲水の庭」に注目し、独自のツアー企画やPR動画を作成するなどして、様々な人に鹿野地域の良さを知ってもらった。

“重森三玲庭園再発見・再考察プロジェクト「名勝指定に向けて」”の目指すこと

最終目標としては、文化庁からの「名勝指定」に認定されることである。名勝指定を受けるために、まずは登録記念物の指定を受けなければならない、文化庁へのアプローチを続けている。アプローチ方法としては「重森三玲庭園」を所有する漢陽寺と協力し、普段は非公開の庭をめぐるができる独自のツアー企画を策定した。観光地として周知を高めながら名勝指定に向けて、今後も活動を続けていく。

【取材日：2017.11.14】